

政策評価シート（第5次二宮町総合計画・後期基本計画）

まちづくりの方向性	環境と風景が息づくまちづくり
背景と現状	<p>自然環境、歴史・文化を保全・育成し、都会に近い身近な自然環境と田舎の風景、穏やかな住環境を活かした観光を振興し、農業と漁業の振興を図ります。</p> <p>また、地域の素材を大切に商品づくり等による商工業振興や、高齢者世代や子育て世代のニーズに応えた商工業振興を進めます。</p> <p>さらに、町の特性を活かした農業、漁業、商工業と観光との有機的な連携と、町民との連携・協力により、町の活性化を図ります。</p>

※ 評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」
 ※ 方向性 「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

重点的方針	評価					
	R 1		R 2		R 3	
	評価	方向性	評価	方向性	評価	方向性
2-1 地域資源の保全と活用による新たな町の魅力の向上	B	継続推進	C	一部改善	B	継続推進
2-2 自然を身近に感じられる環境にやさしいまちづくりの推進	B	一部改善	B	継続推進	B	継続推進
2-3 二宮らしい産業の振興と雇用機会の創出	B	継続推進	B	継続推進	B	継続推進

※ 評価 「順調である」「概ね順調である」「一部順調ではない」「順調ではない」

内部評価（評価・理由等）	
概ね順調である	<ul style="list-style-type: none"> ・2-1の施策においては、未だ新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況下においても、延期や中止となっていた様々な文化事業を開催することができた。今後も状況に応じた展開を進める必要がある。 ・2-2の施策においては、環境啓発を重点的に進め、町のホームページの環境コーナー充実、就学前の子どもへの出前講座を実施し、環境について学ぶことのできる機会の提供を図った。 ・2-3の施策においては、有害鳥獣対策の推進により一定の効果が得られた一方、商工業においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものも多いため、国の臨時交付金等を活用し、事業継続支援やプレミアム商品券事業を実施し、事業者等への支援を行った。 ・政策全体として、各施策ともに一定の成果が得られているため、推進は概ね順調である。

外部評価（評価・主な意見等）	
一部順調ではない	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな町の魅力の向上や二宮らしい産業の振興に対する成果として、多くの事業がコロナ禍による影響で当初の思惑に沿った結果となっていない中で、一定の成果があったとするのは一定のレベルが低いのではないかと考える。 ●東大跡地を町の魅力を生むための財産であるなら、今よりも手入れを行き届かせて、もっと子どもたちが走り回って遊べるような場所とすれば、訪れる数も増えるのではないかと考える。町は観光や移住定住の要因となり得る公園、その他町有地などの財産や海岸の活用について、もっと真剣に考えていくべきである。 ●少子高齢化やコロナ禍など環境が大きく変化している中で、環境啓発など現時点で考えられる施策を実行していると思われる。 ●葛川の水質改善を例に挙げると、改善要因には下水道整備による副次的な産物という面が存在しているが、他にもこのようなケースを考えればそれが観光資源になるのではないかと考える。 ●環境に配慮した、環境衛生施設の整備、スマート農業の推進、また、太陽光や風力、潮力発電のような再生可能エネルギーの積極的な活用などについても検討するべきである。 ●まちづくりに関して「二宮らしさ」が出せていない印象を受けるので、地域住民を中心としたワークショップの開催などが必要である。 ●町の特産品としてオリーブを掲げているが、認知度はまだ低いことから、まずは町民に向け部局に捉われない事業展開をすることで、町全体でブランドを盛り上げる機運を醸成すると同時に、昔からの特産品である玉葱や落花生なども複合的にアピールを行い町のブランド力向上を目指すべきである。 ●町の図書館については、音楽や映像作品のラインナップに魅力が感じられないため、専門的な知識を持ったアドバイザーなどに協力してもらい充実を図ることで、これまで図書館を利用することのなかった若い世代も含めて多くの方へのアピールになるのではないかと考える。また、図書館に親しみを持ってもらえるよう、イベントの開催や小中学校での学習に活用する方法を検討することもできるのではないかと考える。 ●全体を通して、コロナ禍により予算事業が思わしくない状況を4区分で評価する施策評価の方法自体を見直すべきではないかと考える。また、結果における「概ね順調である」の評価も、コロナ禍での予算に対して概ね順調であるが、本来の方針の実現には順調ではない旨を表現すべきと考える。
※ 町の最終方針「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」	
町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	<p>基本構想「環境と風景が息づくまちづくり」については、外部評価において取り組みや成果に厳しい指摘が相次いだことから、特定の施策について方向性を一部改善し、次のとおり推進する。</p> <p>重点的方針2-1においては、社会実験の場として活用している東大跡地について、まだまだ町民の認知や理解が深まっていないため、今後も継続的に広報紙等で周知していく。また、図書館については、さらに多くの方が気軽に利用されるよう、ラディアンの大規模改修に合わせてリニューアルする。</p> <p>重点的方針2-2においては、関係団体や町の活動が評価されているものの、深刻化する環境問題に適切に対応するため、新たな環境計画に基づいて着実に取り組みを進める。</p> <p>重点的方針2-3においては、特産品であるオリーブや二宮ブランドそのものの認知度が低いことが指摘されているが、町商工会等で把握している認知率は8割近いことから、町としても既存のアンケートなどを活用し的確に認知率等を把握していく。</p>